

厚岸町海事記念館



通信

2007.6.

No.5

海事記念館特別展「写真のなかの厚岸」展を終えて !!

平成18年度海事記念館特別展「写真のなかの厚岸」展も3月21日をもって無事に終わることができました。今回の展示では、多くの方にご協力いただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

明治時代の後期から大正時代にかけて町内で撮影された多くの写真は、写真帳や絵はがきとなって私たちの目を大いに楽しませてくれます。そして、これらの写真帳は現在の私たちに、当時の町の様子を教えてくれる大変貴重な資料となっています。

今回の特別展では、厚岸の昔の風景、特に海に関係する風景に注目しました。そのため、当時の人々の日常の暮らしぶりなどについて、ほとんど触れることができませんでした。今後は、写真を通して、その当時の生活、暮らしぶりがわかる写真を展示できればと考えています。



サンマ粕の俵詰め作業
(昭和32、3年)

ところが、なかなかそのような写真がないのが実状です。今回展示できなかった理由もそこにあります。明治、大正期といえば、今のように誰もがカメラを持っている時代ではありませんでした。そのため、当時の写真は何か目的があってはじめて撮影するというものだったのではないのでしょうか。そこには、人々の暮らしぶり、なにげない日々の生活などを意識して写真に残すという発想が生まれてくる余地がなかったのではないのでしょうか。明治、大正期の厚岸の暮らしぶりが写真を通してわかれば、もっと私たちの住む町の歴史を身近に感じ、興味を持っていただけるのではないかと思ったのですが...。今後の課題です。また、戦前から戦後にかけて撮影された写真も少なくなっていました。今後は、みなさんのご協力をいただきながら写真の掘り起こし、情報の収集をおこなっていきたいと思います。

なお、今回の特別展開催にともない、展示内容を紹介した冊子『平成18年度特別展「写真のなかの厚岸」図録』を発行しました。興味のある方は海事記念館までご連絡いただきたいと思います。



特別展会場風景

総合学習のお手伝いをして

先日、厚岸小学校3年生のみなさんの総合学習のお手伝いをする機会がありました。その際思いついたことなどについて少しお話ししたいと思います。

今回の授業では、当初担当される先生から昔の道具に直接触れながら授業をすすめたいとの依頼があり、児童からは事前に昔の道具として知りたいもののリストがあげられました。リストの中には、洗濯板や盥、自在鉤、やかん、アイロンなど、昭和30年代を中心とした「ちょっと昔の」(このフレーズ、ここ数年、博物館業界ではちょっとしたブームなんですよ)道具たちの名前が挙げられていました。この他にもCDプレーヤーやテーブルゲームなどもあったりと、昭和40年代後半生まれの私にとって「昔の」道具のなかにこのようなものまで入のかと、改めて世代のギャップを実感しました。

ところで、みなさんもお存知のように海事記念館には多くの資料が展示されています。そのため、博物館とは多くの資料のある場所と考えている方も多いのではないのでしょうか。もちろん、博物館施設である海事記念館として、資料を展示することによってその資料を理解し、さらには地域の歴史を学習する場を提供することは当然だと思います。その一方で、展示スペースの問題などにより、当館が持っている資料(所蔵資料)を全て展示することは難しいというのが現状です。そのため、所蔵資料の一部は収蔵庫で保管することとなります。そこで、今回の総合学習のように、昔の道具類を使って学習したいという場合には、普段収蔵庫にあって、展示できない資料を使おうと考えています。そのためにも、収蔵庫の整理を継続的に行っています。これからは、博物館として、所蔵資料をどのように利用していくかが今まで以上に問われるのではないのでしょうか。その利用方法のひとつとして、このような総合学習の教材への利用もあるかと思います。



昔の道具の名前、わかるかな？



熱心に資料を学習中！

文化財係 アッケシソウを栽培していま～す

今年も昨年に引き続き、町内港町でアッケシソウの栽培をスタートしました。そして、今年は、栽培面積を昨年の4倍に増やしました。

昨年は港町で栽培を開始して一年目だったわけですが、10月にはなんとか赤く色づいてくれたました。今年は、アッケシソウがどれだけ色づいてくれるか、期待半分、心配半分です。5月8日現在では、緑色の芽が出はじめています。文化財係では、今後、継続して厚岸湖の水を汲み上げ、アッケシソウに散水していく予定です。アッケシソウの育っていく様子をご覧になりたい方は、ぜひ、港町のアッケシソウ栽培地にお越し下さい。

4倍に増えた港町のアッケシソウ栽培地



港町アッケシソウ栽培地の場所は
こちら！

☆= お知らせ ☆=

平成19年度海事記念館パネル展

「気候の変化、海の生き物の変化」を開催します！

厚岸町は、古くから漁業と密接な関係を持って人々が生活してきました。しかし、近年の地球温暖化の影響が身近な魚介類にもいろいろな影響を与えています。

そこで、最新の調査研究成果を基に北海道区水産研究所が作製したパネル展示により地球温暖化や身近なサンマやニシンなどについて理解を深めてもらえればと思います。

会 期 : 6月9日(土)～7月1日(日)
観覧時間 : 午前9:00～午後5:00
観覧料 : 海事記念館入館料のみ
(大人210円、高校生以下無料)

